

◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	GT-E125/ボンフロン防藻WR-100SCSR工法(既存塗膜あり)		
◇適用素地	コンクリート、モルタル、ALC等 既存塗膜のあるもの(リシン、吹付けタイルなど)		
◇使用材料	下塗	ボンHBサーフェーサーR(W)	16.0 kg / 缶
	上塗	ボンフロン水性GT-SC低汚染防藻	13.0 kg / 缶

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	施工方法	
素地調整	旧塗膜に脆弱部分のある場合はサンダー・皮スキ・ケレン棒を用いて除去し、下地調整材を用いて段差修正及び模様合わせを行ってください。 高圧洗浄機を用いて、旧塗膜に付着している塵埃・汚れ等を水洗いしながら除去してください。						
1	下塗	ボンHBサーフェーサーR(W)	清水 0 ~ 3	0.30 ~ 0.50 0.80 ~ 1.20	1	16h以上 7日以内	ウールローラー 砂骨ローラー
2	上塗	ボンフロン水性GT-SC低汚染防藻	既調合	0.16 ~ 0.20	1	—	刷毛・ローラー
合 計				2			

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工方法	塗着効率 (%)
刷毛・ローラー	80~100
エアレス	60~80
各種吹付けガン	50~70

エアレス圧力(参考)5~10Mpa・50~100kg/cm²

注2) 新設や既存塗膜がない場合及び既存塗膜が脆弱な場合は、ボンHBサーフェーサーR(W)を塗布する前に、ボンカチオンプライマーを塗装してください。

<ボンカチオンプライマー>塗布量/0.15~0.19kg/m² 塗布間隔/2時間

注3) ボンフロン水性GT-SC低汚染防藻は、既調合です。希釈をせずにご使用ください。

注4) ボンフロン水性GT-SC低汚染防藻は、高粘度塗料の為、スプレー塗装は出来ません。

注5) ボンフロン水性GT-SC低汚染防藻は、所要量を下回ると隠蔽不良、艶の低下に繋がります。

注6) 上塗 艶の種類

	艶有り	7分艶	5分艶	3分艶	艶消し
ボンフロン水性GT-SC低汚染防藻	○	×	×	×	×

※ 艶有り以外をローラー施工する場合は、光沢ムラが生じる為、避けてください。

※ 艶有り以外をエアレス施工する場合は、一度の所要量を超えると、指定した艶に仕上がらない可能性がありますので所要量を遵守して下さい。

**※ 特記 本仕様書と共に下記留意点を必ずご確認ください。
塗装工事における留意点《水性塗料》**